



奥 陽治
公明党
(40分)

福山の未来は

問 ①市政運営に対する市長の今後の抱負は。

②ふくやま未来づくり100人委員会の取り組みは。

③Jアラートでの情報伝達は。 **答** ①これまでの市政運営の基



宮本 宏樹
公明党
(40分)

子どもの貧困対策は

問 貧困の連鎖を断ち切る取り組みは。

答 本年7月に実施した子どもの生活実態調査の結果から、貧困の連鎖を生む要因を分析し、子どもの施策に関わる部局の横断的な連携で、より効果的な子どもの支援策を展開していく。

やさしいまちづくり等、効果的な人口減少対策に取り組む。本市の将来を見据え、備後圏域における拠点機能の強化にも取り組む。

②ふるさとに誇りを持つことで30年後に福山大好きと言える姿をイメージし、福山のことを学べる仕組みづくり等が議論されている。

③Jアラートは緊急事態の発生を国民に伝え、迅速な避難行動を促すために整備されたもので、国は新型受信機への移行方針を示している。本市においても短時間でより多くの市民に確実な情報伝達が可能となるよう検討していく。

福山北産業団地第II期造成事業は

問 今後の事業の見通しは。

答 土砂災害防止法等に基づき基本計画を見直した。今後、事業の採算性や経済波及効果等を見極め、事業実施の判断を行う。

有害鳥獣対策は

問 クマ対策は。

答 クマ出没時は、出没時の役割分担や連絡体制を定めた対応マニュアルに従い、適切に対応する。



中安加代子
公明党
(55分)

乳幼児等医療費助成対象の拡大は

問 子どもの医療費助成について

は、本来国が少子化対策として取り組むべき課題と考えるが、県内の中核となる自治体として、子育て支援ナンバー1を掲げるまちとして、乳幼児等医療費助成の対象拡大について今



生田 政代
公明党
(30分)

肝炎の重症化予防策は

問 肝炎ウイルス検査の実施体制は。

答 肝炎は放置すると慢性化し肝硬変や肝がんに進行する恐れがあり、早期発見・治療のために少なくとも1回は検査を受けることが必要といわれている。本市では特定検診等と併せて肝炎ウイルス

後の方向性は。

答 子どもの医療費助成制度については、本来国が責任を持って制度を構築すべきものと考えている。本市としては、引き続き全国一律の制度として創設するよう、全国市長会を通じて国に強く要望するとともに、現在実施している「子ども

の生活実態調査」の結果を分析する中で検討していく。



子どもの生活実態調査」の結果を分析する中で検討していく。

検査を受診できる。また、健康ふくやま21フェスティバルで無料の肝炎ウイルス検査を行っている。

空き家等対策は

問 空家等対策条例制定後の取り組みと課題は。

答 老朽化した空き家は順次立ち入り調査を実施し、所有者に現状の認識をさせていただくとともに助言、指導を行っているが、相続放棄など所有者の特定が困難な場合が少なくなく、助言、指導できないことが課題である。